

議長	事務局長	次長	書記

会 議 日 時	令和4年12月8日（木） 午前9時30分 ～ 午前11時30分			
会 議 場 所	○議員控室 ☒ 委員会室 ○議会図書室 ○その他（ ）			
出 席 者 数	委員 6名のうち出席者 6名			
出 席 委 員	委 員 長	緒方 正綱	委 員	橋本 章央
	副委員長	村井 眞菜	委 員	味元 和義
	委 員	中屋 康		
事 務 局				
説 明 者	総 務 課	課 長 池上康一		
傍 聴 者		な し		
付 議 事 件	1. 職員の時間外労働について			
	2. 視察研修について			
	3. 総務常任委員会の総括について			
	4. その他			
審 査 ・ 調 査	1. 職員の時間外労働について			
	・ 水曜日のノー残業デーの現状報告。4月から10月の時間外勤務状況と前年度との比較資料の報告から、時間外総時間、総人数、残業率において、数字的にみて明らかに成果がでていることを確認した。			
	2. 視察研修について			
	・ 11月17～19日の日程で愛媛県西予市と福岡県東峰村に平成30年7月豪雨、九州北部豪雨を教訓とした災害対策の取り組みと復興状況を、本町の災害対策に繋げることを目的として視察を行った。西予市については、大規模災害時における職員の参集、特に消防団との兼務職員の参集方法、議会BCP、災害ボランティアの支援、避難所運営、ダムの放流と避難指示等の事例など、大変参考にすべきことを学んだ。			
	・ 東峰村は、元村職員で災害を実体験された方が実際に現場を案内してくれて、生々しい状況もわかった。現在復興中、復興の終わりの段階でやはり、復興にむけての体制づくりは参考になった。			
	・ 西予市職員を見て、しつかり職員教育が行き届いていると感じた。議会BCPに			

今、四万十町でも問題なのは若い消防団員が入ってこない。西予市では、若い職員が半数以上入っている。そんな自治体もある。今回、視察をした中で、感じたのは、①地域は地域で守る。②議員は家族と地域を守る。③消防団員の拡充。④個別避難計画（旗の掲揚等）を提案していくべき。

3. 総務常任委員会の総括について

・2年間の総務常任委員会活動テーマとして、職員の長時間労働是正と議会ＢＣＰ。

職員の長時間労働是正については、１１月の委員会で、町長・副町長に出席してもらって、職員アンケートの意見を基に、現在、対応できていること、やり始めたもの、計画中のもの、計画まではいっていないが検討中等々の回答をもらった。成果として見えてきたもの或いは期待できることもある。議会ＢＣＰについては、条例の策定までは行かずに、初動期の段階までの作成は形として仕上がっているものの、全員協議会へ諮るまでには至っていないので、次に組織される総務常任委員会に引き継いでもらいたい。

・集落活動センターの運営について、高齢化、後継者不足、育成が問題である。移住・定住についても、何をターゲットに進めるのか、意見書をのこすべきだ。子どもが入ってくる施策をすべき。高齢者においては、人は増えても逆に町の負担が多くなる。若い世代の夫婦が来てくれたら子どもも増える。使える基金をしっかりと使って思い切った施策を打ち出して欲しい。雑談的に総括の話をしているが、委員長が今の意見を取りまとめて、町長に提案なり、要望を提出すればよい。

4. その他 なし。

(午前11時30分終了)